

公園のようなお花屋さん ―アボウオーキッド販売店の造園計画―

1. はじめに

令和4年4月にアボウオーキッド販売店を営む本校マイスター科2期生・安保有美さんから店舗周りの造園計画の依頼を受けた。有限会社アボウオーキッドは、岐阜県中津川市下野にある洋ランの生産販売を行う会社である。「体験・経験を提供することが、花屋さんの社会的役割だと思う。そのために店舗周りの空間を活用したい。」という安保さんのお話から、社会性を兼ね備えた公園のような花屋さんを作る造園計画を立てたいと考えた。新しい園芸店のかたち「公園のようなお花屋さん」を計画することを目的に、卒業研究・卒業制作としてアボウオーキッド販売店の造園計画に取り組むこととした。

本研究・制作で行う計画・設計の工程は、現況調査から基本設計まで行うこととした。実施設計・施工は店舗の一部である看板周りのみ行うこととした。

2. 現況調査

現況を分析し、造園計画を立てるため、現況調査を行った。

植生・景観調査	サクラやケヤキなど鑑賞価値のある樹木や木陰になる既存樹木。ため池は活用できる可能性がある。
事例調査	庭空間のある園芸店を調査した。商品を修景物として活用することで、商品の使い方を提案する役割を持たせていた。
来店客の調査	1人～2人での来客がほとんどで団体の来客は少ない。女性客が7割以上。
駐車台数の調査	調査実施時では同時駐車台数5台が最大。晴れの日や母の日などの混雑時はさらに駐車台数が増えることが予想される。

3. 完成図面

テーマ「公園のようなお花屋さん」

コンセプト「お庭をめぐりながら体験・経験・感動を届けるランのお店」

安保さんの意見を参考に、4つのテーマを設定しエリア分けを行った。

オーキッドガーデン	ランの魅力を発信するメインエリア。奥には、ランを展示するミニ温室もある。
ボーダーガーデン	ボーダー花壇と水辺の風景をカフェから眺めることができるイギリスの庭のような空間。奥には、子どもの遊び場を設ける。
ウェルカムガーデン	国道から見ても存在感を感じる華やかな植栽空間。園芸療法ガーデンを設ける。
ナチュラルガーデン	中津川の魅力が詰まったナチュラルな空間。ロックガーデンとモデルガーデンが並んだ小路がある。

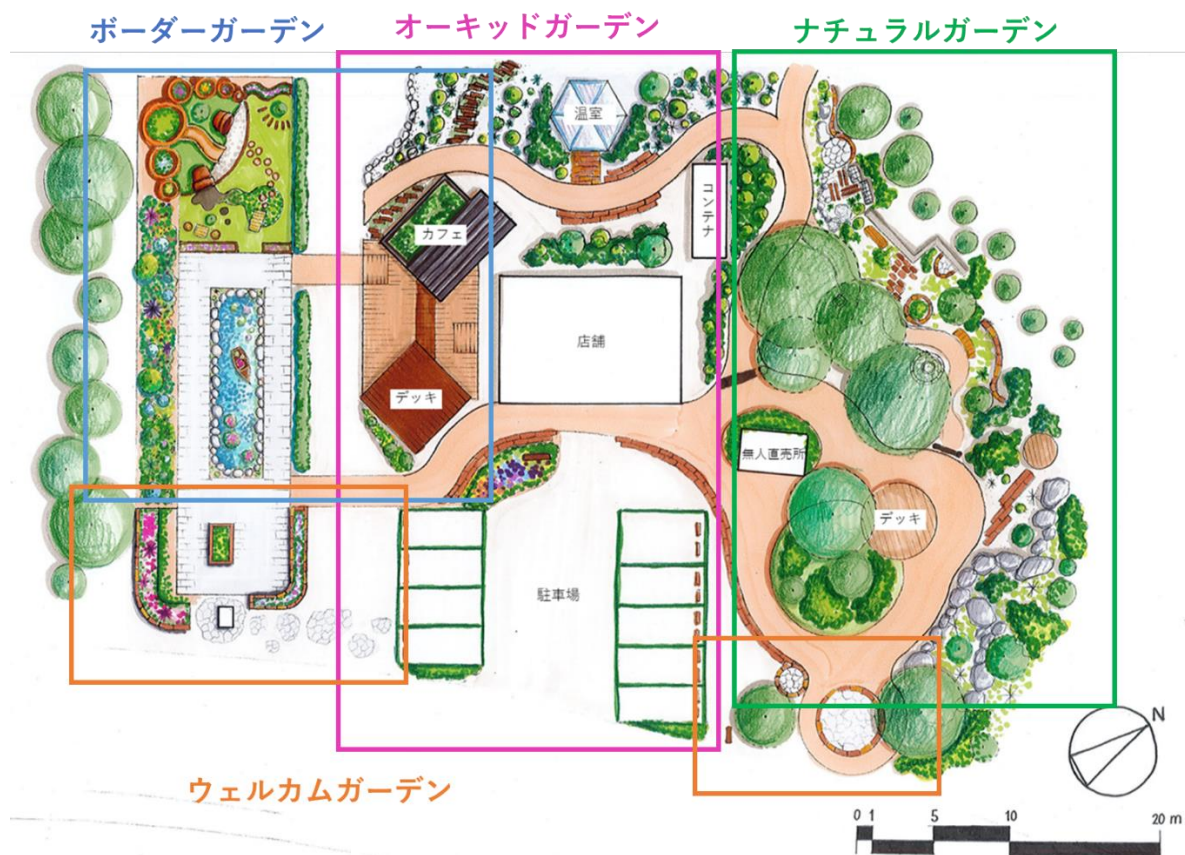


図-1 計画平面図

4. 施工 看板周り植栽・看板の設置

既存の看板のリニューアルと花壇の植栽を行った。看板は水性ペンキで着色し、ニスで仕上げた。植栽は、店内の商品を使用し、宿根草が主体の花壇とした。



図-2 植栽配置図



写真-1 施工後

4. まとめ

バリアフリー、園芸福祉、地域固有種の保存、景観形成、子育て・教育、植物の魅力を発信する工夫など、公園のような空間づくりを民間の小売店等にも取り入れることで、収益向上・社会性の高い空間を創出することができる可能性を感じた。